

令和7年5月

令和7年度 JST 次世代科学技術チャレンジプログラム

熊本大学「くまもと未来ドクター塾」募集要項

熊本大学 大学教育統括管理運営機構

入試・就職戦略室

趣旨：「水の国くまもとの自然と産業の共生をめざす未来の科学技術人材育成」

半導体生産等に欠かせない地下水の保全が大きな課題となっており、自然と産業との共生をめざす人材の育成が急務です。同時に、地域課題等を深く理解し持続可能な社会に向け、グローバルに活躍する科学技術人材の育成も重要です。県内3つのエリア（阿蘇、熊本、沿岸）ごとに自然や産業等の特色を本学の先生による講義・実習で学んだ上で、本人の熱意と努力によりさらなる探究を本学で実施する環境を準備します。本学は、水循環に関する研究及び、半導体分野を含む地域のDX化を推進できるグローバル人材、さらに、ビジネスの発展等を地方創生につなげられる人材の育成を行っています。地域やグローバルな環境問題、サステナビリティを意識したイノベーションを将来起こせるような科学技術人材の育成が本プログラムの目標です。

クラス：3つのクラスのうち一つを選択します。選択クラス以外の授業も受けられますが、参加人数に上限がある場合選択クラスの受講生が優先されます。

【阿蘇クラス】 火山・地質、植生、生態系サービス等

【熊本クラス】 地下水、半導体産業、自然史、減災等

【沿岸クラス】 沿岸環境、地域課題等

実施予定時期：令和7年7月～令和7年12月まで

各クラス3～4科目の授業・実習を行い、オンラインでの確認テストやレポート提出により受講認定されます。共通科目はまた、授業は月に1回～2回（土日祝日を予定）実施し、各クラス1回は野外での実習も計画しています。

募集締切：6月15日（日）

応募サイト：URL: <https://forms.gle/WSBmQpQdBK1chARs8>

フォーム入力後「応募した理由」と「今までに自分がやってきた活動や学習など」の提出と面接を予定しています。



募集人数：各クラス13人程度を予定（合計40人まで）

応募多数の場合は志望理由および面接により受講生を選抜します。

対象者：熊本県とその近隣地域の現在小学5年生から中学3年生までの児童・生徒

（小学4年生以下の児童と高校生は参加できませんので予めご了承ください。）

授業スケジュール予定（変更になる場合があります）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
共通	開校式（19日） 【授業】住んでいる町の課題を解決（19日）	【授業】水の循環 【授業】台湾とくまもと 【授業】デザイン思考と海外のものづくり	【授業】産業のスマート化（21日）	【授業】データサイエンス	【授業】研究倫理 夢科学探検の見学	高校生の探究発表会の見学 【授業】研究計画作成指導 台湾の大学生との交流
阿蘇クラス	【授業】阿蘇の草原のはなし（26日）	【授業】生態サービスって何か？（2日）		【授業】阿蘇での人のくらし 【野外実習】阿蘇の火山のはなし		
熊本クラス		【授業】半導体のはなし	【授業】熊本の地下水	【授業】恐竜たちがいた熊本（6日） 【野外実習】熊本地震に学ぶ		
沿岸クラス				【授業】崎津のまちづくり	【野外実習】「恐竜の島」御所浦 【授業】熊本の沿岸環境を学ぶ	

【開校式（7月）】ガイダンスとしてプログラムの内容や進め方を説明し、レポートや確認テストなど受講生が授業の後にやるべき事項の確認、さらに、アプリの使用法やレポートの書き方等を説明します。

【科目受講について】クラスの授業をすべて受講し、共通科目の8つの授業のうち5つ以上、「夢科学探検の見学」「高校生の探究発表会の見学」「台湾の大学生との交流」のうち1つ以上受講することでくまもと未来ドクター塾「くまもと学探検コース」の修了証書を授与します。事情により熊本大学に来られない場合、翌週に配信される授業を見て、レポートもしくは課題を提出することで受講とみなします。

※台湾の大学生との交流は「デザイン思考と海外のものづくり」の受講者を優先します

～くまもと未来ドクターコースについて～

研究計画作成指導を受講し、くまもと学探検コースの修了が見込まれる受講生は翌年度に、熊本大学の研究室等で探究活動を行う「くまもと未来ドクターコース」参加希望が提出できます。

問い合わせ先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1

熊本大学 大学教育統括管理運営機構 入試・就職戦略室
担当：生野朋子

TEL：096-342-2726 FAX：096-342-2846

E-mail：admissions-office@jimu.kumamoto-u.ac.jp